

れんけいニュース

Vol. 21



「津川 絵理子の文より」 佐々木 幸子

<Contents>

- ◆ 地域医療連携室からのご挨拶(地域医療連携室 看護師長 菊地 綾子)…P②
- ◆ 医療介護連携協議会を開催しました…P③
- ◆ クリニカルパス大会を開催しました…P④
- ◆ 紹介状を持参しない場合の受診について…P⑤
- ◆ MR I 検査チェックリストについて…P⑥
- ◆ 経腸栄養分野に関するお知らせ (MEセンター、栄養科) …P⑦
- ◆ お知らせ…P⑧

地域医療連携室からのご挨拶

由利組合総合病院 地域医療連携室 看護師長 菊 地 綾 子

常日頃から当院の地域医療介護連携に係わる業務に、多大なるご理解とご協力・ご支援をいただきまして、厚く感謝を申し上げます。

元号が令和に変わった今年度も慌しく過ぎ、気づいたら残すところあと僅かになりました。例年のように、今年もインフルエンザの流行により入院病棟は面会制限となっており、ご不便をお掛けしております。

私は現在の地域医療連携室に勤務しまして、今年度で3年目となりました。“病院の中”だけのことを考える（という語弊がありますが…）仕事を中心であった今までと、病院の内と外とを繋いでゆく、この連携・相談業務が主となる全く異なった業務に戸惑いました。電話での連絡調整は、津々浦々です。入院をすると“患者さん”として接してしまいましたが、在宅では“生活者”であるということを忘れて接しがちです。生活環境や在宅でどの様に生活しているかを知る、またはイメージした関りができるかがいかに大切かということを実感しています。地域で暮らす方々が望まれる医療や介護サービスが受けられるように、病院内外を取り巻く関係各所・各機関を結び・調整していくことが大きなミッションだということをややくわかってきた様に思います。

1日当たりの患者数は入院患者が390人前後、外来患者数は900人前後となっております。経営戦略として外来縮小ということも挙げられてはいますが、「複数科に受診しているので1つの病院でまとめて診てもらいたい、あちこち行くのが大変だ」との声が高齢になればなるほど現実に多く聞かれます。かかりつけ医や在宅と地域連携の輪がますます確固なものになればいいなと思っております。一般病棟の在院日数は12日～13日、地域包括ケア病棟は26日～27日という現況の中、入退院支援は非常に重要になっています。入院前に行う支援では、7つの診療科に関わっており、眼科・循環器内科・消化器内科の短期入院、整形外科は脊髄造影検査入院、全身麻酔手術による脊椎疾患、膝・股関節の人工関節置換術、外科は全身麻酔と腰椎麻酔での手術、泌尿器科は全身麻酔下手術、心臓血管外科は全身麻酔下での手術と多岐に渡ります。

入院後も支援が必要と考えられる患者さんは、退院支援専従看護師やMSWと情報共有し、入院早期から得られた情報が共有され支援・調整が途切れることなく繋がっていきます。また入院前に面談を行なうことは、患者さんの入院に対する不安軽減にも繋がります。外来や入院から退院などの様々な場面で多職種が関わり、円滑に進むように支援をしております。しかしながら、「誰に、どこに相談や連絡をしたらいいかわからない。院内の電話をあちこちに回された。」ということがあったという方もいるかも知れません。

ご相談内容に応じて適切な職種・部門に繋ぐ役割を致します。今後も病院にとってアンテナであり顔にもなれるような連携室になればと思っております。

医療介護連携協議会を開催しました。(令和2年1月17日(金))

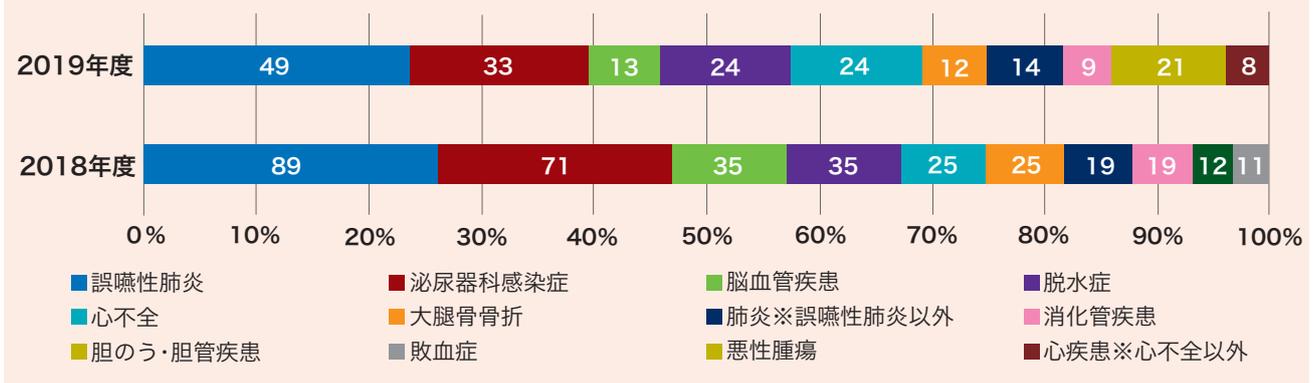
当院では医療と介護の連携推進の一環として年1回開催しています。今回で3回目の開催を迎え、入退院支援に関する実績報告・誤嚥性肺炎の受入れに関する報告と入退院支援部門を通して介護関係者の皆様へお願いしたいこと・紹介したいことを報告させていただきましたので部分的にご紹介します。

■実績報告（2019年度実績は、10月末時点によるものです。）

退院患者のうち退院支援を要する患者割合は、40%で推移しており、退院支援を要する患者に対して退院支援部門の介入割合は、80%以上で推移しています。介入診療科は、泌尿器科や循環器内科に対する介入が増加傾向にあります。ショートステイを除く介護福祉施設より入院した患者さんの契機となった疾患は、誤嚥性肺炎、泌尿器感染症が大半を占めています。今年度の心不全が入院の契機となった件数は、既に前年度件数と同等となっています。



介護施設・福祉施設 入院時契機病名上位10項目(在宅の取り扱いとなる施設以外)



■介護関係者の皆様へお願いしたいこと

① 利用者様の受診に関すること

利用者様の外来・救急外来受診時の際、付き添われるご家族様が普段の状態や受診経緯などを理解されていないケースが見受けられました。発熱や食欲不振など受診に至った経緯、移動・移乗に関すること・意思疎通に関することなどについて、簡単でいいので情報提供をお願いいたします。頂いた情報は、外来での排泄介助や入院時の部屋を検討する際に重要となります。また、この件に関して病院としてどの様な情報を必要としているのか改めて検討を行いたいと思います。

② 退院後訪問について

退院支援を行うにあたり、患者さんの生活の場を理解してケアマネジャーさんを含めた多くの方々との情報共有を行い、地域の皆さんの力を借りながら繋がっていくことで本当の退院支援に繋がると考えています。そこで、当院では9月より退院後訪問を開始しました。これまでに11回に渡りケアマネジャー、調剤薬局薬剤師、訪問看護と同行して退院後訪問を行いました。病棟看護師は治療が優先で在宅にまで目が向いていないのが現状ですが、将来的には退院後訪問を行いケアマネジャーと情報共有をしながら支援を行うことで繋がりを強めていきたい所存です。

当院では入退院支援部門専従職員を中心とした意見交換・情報共有の場として事業所訪問にも取り組んでいます。今後も継続して参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

クリニカルパス大会を開催しました。(令和元年11月21日(木))

当院にはクリニカルパス委員会が設置されております。クリニカルパスとは、病院で行う患者様の予定をスケジュール表にしたもので診療内容を統一し、標準化を図るための診療計画書のことで、委員会では使用されているクリニカルパスの評価と改定、新たなクリニカルパスの作成を協議し、職員に周知徹底を図り、「クリニカルパス」の啓蒙と発展のために活動しております。

由利組合総合病院では、令和元年11月21日(木)にクリニカルパス大会を開催しました。クリニカルパス大会は、2016年より開催しており、今年で第4回目の開催となりました。

クリニカルパス大会では、9階ゆり病棟から「脳神経外科血管造影検査パス」について、8階しょうぶ病棟からは「外科肺切除パス」についての活動報告や運用について発表してもらいました。また、特別講演として「クリニカルパスをいかに活用するか―チーム医療、地域連携、病院経営まで」日本海総合病院循環器内科、菅原重生先生より、ご講演をいただきました。

クリニカルパス大会終了後、関する内容でアンケートを行いました。アンケートの回答では、7つの項目のうち5項目で95%が肯定的にとらえておりました。私たちはクリニカルパスの利用により、標準的な経過をたどる症例においては、むしろカルテ記載を単純化することを目指しており（テンプレート利用など）、そうではない（バリエーション）例に対しては個別の対応をとることにより、より効率よい医療を目指していくことを考えています。クリニカル委員会では、今後もパス活動を推進してゆきたいと考えています。

〈特別講演〉

クリニカルパスをいかに活用するか―チーム医療、地域連携、病院経営まで―

地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 循環器内科
菅原 重生 先生

日本海総合病院ではクリニカルパス専門のスタッフがおり、全384種のクリニカルパスを60%前後の患者に適用しているとのことでした。最近ではバリエーション（患者様の到達目標が達成出来ない場合）発生率が増しているとのことでしたが、それはパスが理解されてむしろしっかり拾い上げられるようになったためとのことでした。バリエーション対策には、組織横断的な活動（感染チーム、栄養サポートチーム、退院調整など）が有効で、そこには改善のヒントがあると話されていました。その他にも病院経営や、医療連携、入院センターでの代行入力で医師や病棟の負担軽減など、パス以外でも多岐にわたるお話をいただきました。



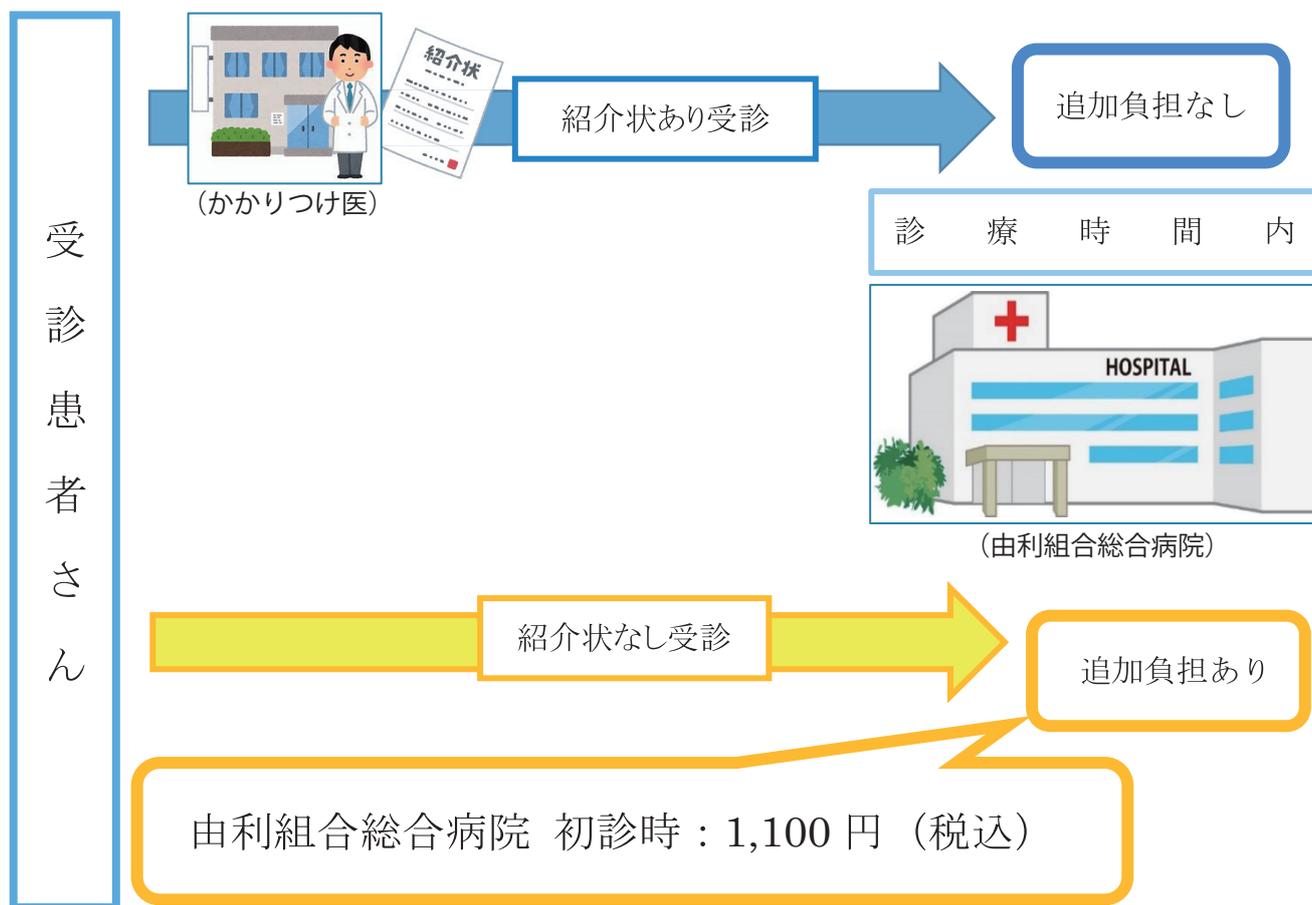
紹介状を持参しない場合の受診について

2016年度より、紹介状を持参しないで特定機能病院と400床以上の地域医療支援病院を受診した場合、診察料の他に追加負担（初診時：5000円以上・再診時：2500円以上）を徴収することが義務付けられてきました。特定機能病院や地域医療支援病院でない200床以上の病院においても、医療機関毎に金額を決めて追加負担を徴収しているところが現状です。

この度の診療報酬改定では2020年度より、対象となる病床数が400床以上から200床以上へ拡大されました。現在の対象医療機関は全国420施設の中、200床に拡大されると約670施設に増加し、地域医療支援病院のほとんどが対象になるとも言われています。

2020年度、由利組合総合病院におきまして診察料の追加徴収に関する対応は以下のようになります。

由利組合総合病院は、特定機能病院・地域医療支援病院に該当していません。



夜間休日を除く診療時間内で紹介状を持参せずに当院を初診で受診された場合、初診料と別に1,100円（税込）を追加負担として徴収しております。2020年度の診療報酬改定以降も同様の体制です。

夜間休日を除く診療時間内で紹介状を持参しないで当院を初診で受診された場合は追加負担があることについてご留意いただきますようお願い申し上げます。

MR I 検査チェックリストが変わりました。

由利組合総合病院ではMR I 検査を行うにあたり、事前に人工関節や外科用クリップなど体内金属の把握に日頃より努めています。この度、医療安全の観点から正確でより安全な検査を行うためにMR I 検査チェックリストを変更しました。

新しいチェックリストは、これまでのチェックリストに比べ人体の部位に沿って項目を表記していることや原則禁忌となっている項目は明確に（禁）と表記していることが特徴です。

地域医療連携室を通じてMR I 検査を依頼される場合についても新しい様式のMR I 検査チェックリストに記載が必要となります。

- ※ MR I チェックリストは、由利組合総合病院ホームページ地域医療連携室よりダウンロード可能となっていますので必要時にご活用下さい。
- ※ 地域医療連携室へ検査を申し込まれる際のお願いについて新様式変更に合わせて記載させていただきますので何卒よろしくお願いいたします。

☆地域医療連携室より依頼時のお願い

① 事前に診療情報提供書をお送りください。

放射線科医師が診療情報提供書をもとにオーダーを事前に入力します。受診前日の朝までに診療情報提供書を地域医療連携室へお送りください。（原本は当日患者様がお持ちください。）

② 「診療申込書」には、病名・放射線依頼項目について漏れなくご記入ください。

③ 予約をお受けできる曜日が限られます。

- ・月：造影剤使用される患者様
 - ・火～木：造影剤使用しない患者様
 - ・金：原則お受けしていません
- いずれも14時30分以降の予約になります。部位や撮影方法により予約が取りにくい場合があります。

地域の先生方はもとより、スタッフの皆様におかれましてもご理解いただきたく、お手数おかけしますがご協力の程よろしくお願いたします。

MR I 検査チェックリスト

MRI 検査を安全に行うため、ご記入お願いいたします この用紙は必ず当日持参してください

| | |
|---|---|
| ID _____ 氏名 _____ 検査日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 () 当院でのMRI検査歴 <input type="checkbox"/> 初 <input type="checkbox"/> 再 (記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日) 身長: _____ cm 体重: _____ kg | ※検査日と記入日が半年以上空いている場合、検査当日にもう一度スタッフが確認いたします。 |
|---|---|

| 【検査予約時にチェック】 (※ 禁 は原則禁忌) | 【検査当日にチェック】 |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 脳動脈コイル・クリップ <input type="checkbox"/> 頭・頸部ステント <input type="checkbox"/> 可変式脳圧シャントバルブ <input type="checkbox"/> 脳脊髄刺激装置 禁 <input type="checkbox"/> 人工内耳・人工中耳 禁 <input type="checkbox"/> 磁石部分のある義歯・義眼 禁 <input type="checkbox"/> アートメイク (眉毛・アイラインなど) 禁 <input type="checkbox"/> 心臓ペースメーカー、節細動器 禁 <input type="checkbox"/> 心臓人工弁 <input type="checkbox"/> 心臓 (冠動脈) ステント <input type="checkbox"/> 大動脈ステント <input type="checkbox"/> 埋め込み型心電図データレコーダ <input type="checkbox"/> 下大静脈フィルター <input type="checkbox"/> インスリン注入ポンプ <input type="checkbox"/> 2週間以内に内視鏡検査を受けた (止血クリップの有無) <input type="checkbox"/> 刺青 (タトゥー) 禁 <input type="checkbox"/> 妊娠中・妊娠の可能性 <input type="checkbox"/> 下肢動脈ステント <input type="checkbox"/> 人工関節・ホルト・プレートなど部位 () | <input type="checkbox"/> かつら・ヘアウィッグ・増毛スプレー <input type="checkbox"/> ヘアピンなど金属製の髪留め <input type="checkbox"/> マスカラ・アイシャドーなど色の強いものやラメのある化粧品類 <input type="checkbox"/> カラーコンタクト <input type="checkbox"/> ビアス・ネックレスなどのアクセサリ <input type="checkbox"/> 眼鏡 <input type="checkbox"/> 補聴器 <input type="checkbox"/> 入れ歯 <input type="checkbox"/> 時計 <input type="checkbox"/> 金属のワイヤー・ボタンなどのついた衣類・下着 <input type="checkbox"/> 装具 (コルセット・義肢など) <input type="checkbox"/> 湿布・エレキバン・カイロ <input type="checkbox"/> 貼り薬 (ニトログラムテープなど表面が銀色のもの) <input type="checkbox"/> 取り外し可能な医療機器類 (ホルター心電図、体温計など) <input type="checkbox"/> 財布・カード類 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 鍵 |

| | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 上記に当てはまるものはありません | 医師 or 看護師 記入欄 <input type="checkbox"/> 検査可 <input type="checkbox"/> 検査不可 |
| | チェック者氏名 技師サイン |

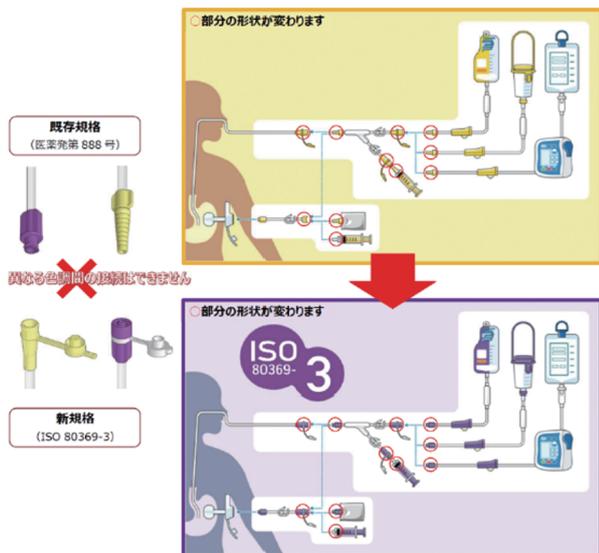
当てはまる項目がない場合は☑を忘れずをお願いします。

経腸栄養分野に関するお知らせ(MEセンター・栄養科)

◎ 誤接続防止コネクタ<経腸栄養分野>の導入について (MEセンター)

近年、医療機器などで分野間の相互接続を防止するコネクタに係る国際規格 [ISO(IEC)80369 シリーズ] の制定が進められており、経腸栄養分野においてもその時期が差し迫ってまいりました。当院では、新規規格の導入を2020年2月末に設定し準備を進めておりますが、既存規格の在庫を使い切ったからの切り替えとなります。完全に切り替えを終えるまでは、新規規格と既存規格の混在がすると予測されます。

経腸栄養分野に関わる医療機関・介護施設様に置かれましては、2020年3月以降に新規導入する新規規格へのご対応を各施設にお願い申し上げます。3月以降、すぐに全てを新規規格に切り替えなければならないわけではなく、『新⇄既存規格への変換コネクタ』でご対応いただき、施設内の既存規格の在庫が無くなり次第、切り替えを行うことも可能です。事故が起きないようにスムーズに移行したいと考えておりますので、ご協力よろしくをお願いいたします。



「変換コネクタ」新規規格⇄既存規格
※ 一時的に規格変更し使用することが可能です。

◎ 一般濃厚流動食の変更について (栄養科)

令和2年度より、一般濃厚流動食がCZ-HiからMA-ラクフィア 1.0に変更となります。関連する医療機関・介護施設様に置かれましてはご周知のほどお願いします。



- 【特徴】
- 3種類の食物繊維配合
難消化性デキストリン
グァーガム分解物
セルロース
 - シールド乳酸菌配合
 - ナトリウムの摂取量に配慮
 - 不足しがちな微量元素に配慮

100ml当たりの組成比較

| | 現行 CZ-Hi | 変更後 ラクフィア |
|---------|----------|-----------|
| エネルギー | kcal 100 | 100 |
| たんぱく質 | g 5.0 | 4.0 |
| 脂質 | g 2.2 | 3.0 |
| 糖質 | g 14.7 | 14.0 |
| 水分 | ml 83.5 | 85.0 |
| Na | mg 90.0 | 197.0 |
| (食塩相当量) | g 0.2 | 0.5 |
| ビタミンK | μg 8.0 | 7.0 |
| Zn | mg 1.1 | 1.0 |
| Fe | mg 1.1 | 0.8 |
| K | mg 150 | 120 |
| P | mg 75 | 60 |
| 食物繊維 | g 2.4 | 1.0 |

お知らせ

患者様のご紹介は、事前に連携室へ

- ◎ 受診日を調整し、受診票をFAXにてお返しします。
- ◎ 地域医療連携室では、頂いた申込についてその日のうちに受診票をお返しする様努めています。
- ※ ご紹介内容により、新患担当医師又は専門医が診察を行うことがあり、ご希望医師の診察にならないことがあります。診察医師ご希望の場合は、申込時にお書き添えの上お申し込みください。
- ※ 診療申込内容・紹介診療科状況・申込時間帯（16時以降）によって当日中に受診票のお返しができないケースがあります。また、受診希望日時に沿えるよう調整に努めていますが希望日時の紹介患者枠が埋まっていることも多々あり、やむを得ず日程の変更をお願いすることもあります。

患者様や地域の先生方・スタッフ様にはご不便をおかけしております。今後も紹介時は、ご希望に添える様可能な限り取り組んで参ります。ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

個人情報の取り扱いにご注意ください

- ◎ 診療申込や診療情報提供書について患者情報の記載誤りにご注意下さい。特に生年月日の記載につきましてはご注意ください。
- ◎ 診療申込などの記載内容と当院の情報が合致しない場合、地域医療連携室より確認させていただきますのでよろしくお願い致します。

面会について

- ◎ インフルエンザ等を始めとした複数感染症の流行に伴い、感染拡大防止のため全病棟において入院患者様への面会を制限させていただいております。終息に至るまで面会制限は継続されますのでご理解のほどよろしくお願い致します。
- ◎ 打合せなど当院へお越しの際は、**マスク着用と手指消毒を徹底**していただきます様ご協力下さい。打合せ等は可能な限り短時間でお願いいたします。

編集後記

れんけいニュースの編集に携わり、3年が過ぎました。振り返ってみると、作成・印刷・発行を自ら行っていた担当初期の頃が懐かしく感じます。情報発信の充実を目標に現在の発行形態へ切替えましたが、掲載内容については作成しながら悩むこともしばしばありました。今後も医療情報や地域に広くアンテナを張り、情報発信に繋げていきたいと思えます。

さて、2020年度は診療報酬改定が控えています。診療情報提供料(Ⅲ)が新設され、地域医療連携分野にも変化がみられています。これからも地域医療連携分野は、継続して重要なポイントとなると思えます。皆様とより良い連携体制が取れる様スタッフ一同努めて参ります。今後とも地域医療連携室をよろしくお願い致します。(担当③)

★由利組合総合病院 地域連携センター★

月曜日～金曜日（祝祭日を除く）8：30～17：00 ※時間外は救急室へご連絡お願い致します。
 地域連携・入退院支援 TEL 0184-27-1293（直通） 医療福祉相談 TEL 0184-27-1264（直通）
 FAX 0184-27-1318（直通）